



「俺らは水だ。水の衣装を着けた水の子。その昔、蒲原平野は海の底だった」



▼水浸しの土地を掘り返し、河童や魚に迫る人間たち



洪水に苦しむ農民。「向こう側のやっつら、尻をぶかばか振ってやがら」



大河津分水完成に尽力した田沢与一郎



客席の頭上に飛ぶ。夫合唱と、扉上げのダンス



親元を離れて芸を学ぶ旅に出る角兵衛獅子の子どもたち



農村とは対照的に華やかな江戸の町



大河津分水は延べ1千万人が動き、13年を費やして大正11年に完成した



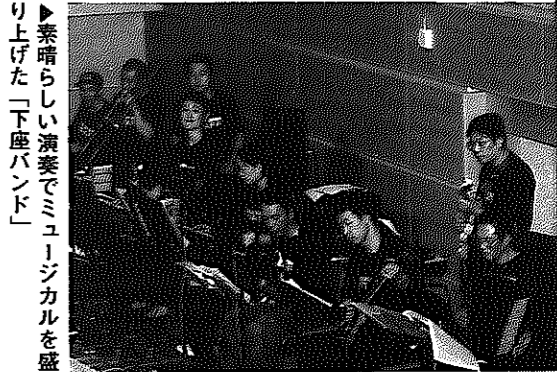
「ビニールハウスで育てた苗を、田植え機に積み込んで」



田んぼの秋は、農民のカーニバル



「分水を造る、工事に取り掛かるぞ」



素晴らしい演奏でミュージカルを盛り上げた「下座バンド」



チヨウが舞う、川辺の春

参加者の声



ダンシングチーム 和久井由美子さん (山崎興野)

ミュージカルを見る度、「すてきな」だと思っていました。「リバー・ビープル」の募集要項を目にして、「私もダンスでなら」と思い、勇気を出して応募しました。振りや歌には苦労しましたが、練習でみんなと会うことが楽しくなりました。また、本格的な道具などが出来上がっていくのを見て、「このミュージカルを成功させたい」と思いました。本番終え感激し、見に来てくれた人の「良かったよ」という言葉を聞いて、あらためて満足でいっぱいになりました。素晴らしい思い出がありありがとうございます。



子ども役 実加さん (東町)

私の役は「江戸の子ども」です。応募したのは、友達に「一緒にやろうよ」と言われ、「やってみよう」と思ったからです。練習では大きな声で歌ったり、踊ったりするのが大変でした。でも、私は人前で話をするのが苦手なので「本番で大きな声でせりふを言えるといいな」と思いました。



衣装スタッフ 飯田恵子さん (能登6)

裁縫が大好きなので衣装スタッフに申し込みました。ドレスなどを作ると思っていたのですが、予想と違って野良着や魚などでした。同じものを数十枚と作った衣装は、どれも皆さんと丁寧に仕上げた自慢の作品です。大変な面もありましたが楽しい作業でした。着付けもお手伝いしました。着替えが間に合わない衣装には工夫を加え、本番にはなんとか間に合わせました。みんなで頑張ったかがあります。楽しかったし、うれしかったです。参加して良かったです。本当に感動しました。



合唱隊 正弘さん (和泉)

私が「リバー・ビープル」に参加したのは、ミュージカルという



下座バンド 西村修二さん (中之口村)

非常に難しく手間取ったのは、角兵衛獅子の制作でした。作業が終わったときは、ほっとしました。初めてのことはかなり大変でしたが、楽しかったです。良い緊張感を体験できた、貴重な体験でした。ありがとうございました。



ステージスタッフ 星井綾子さん (中央通1)

ステージスタッフという舞台裏の作業に参加したのは、なかなかできない経験だと思ったのと、自分自身いろいろなことにチャレンジしたいと思っていたからです。

下座バンドの一員として、オーディオンで参加しました。練習はやはり大変でしたが、熱心に励む皆さんの姿は実に美しく、その中にある自分もまた、とても充実していました。ようやく一つのことを成し遂げて、ほっとしています。これまで長く音楽に親しんできましたが、この満足感は生涯忘れられないでしょう。

観客の声から

- とても感動しました。農業にかかわる者として、先人の歩んできた道を無駄にしないよう、誇りにしていきたいと思いました。(51歳・女性)
- 場面ごとに、涙があふれて止まりませんでした。(39歳・女性)
- 一人ひとりの力強さの、なんと素晴らしいことでしょうか。他県から来た者ですが、新潟が好きになりました。(60歳・男性)
- 実はこんなに素晴らしい出来とは思わなかったので驚きました。すごい迫力で、涙が出るほどでした。出演者も生き生きして、見ていて気持ち良かったです。(42歳・女性)
- 皆さんの一生懸命さ、とても伝わりました。見ていて、幸せな気持ちになりました。(24歳・女性)
- 楽しいミュージカルでした。すべて手作り、裏方の皆さんも大変御苦労さまでした。(38歳・女性)